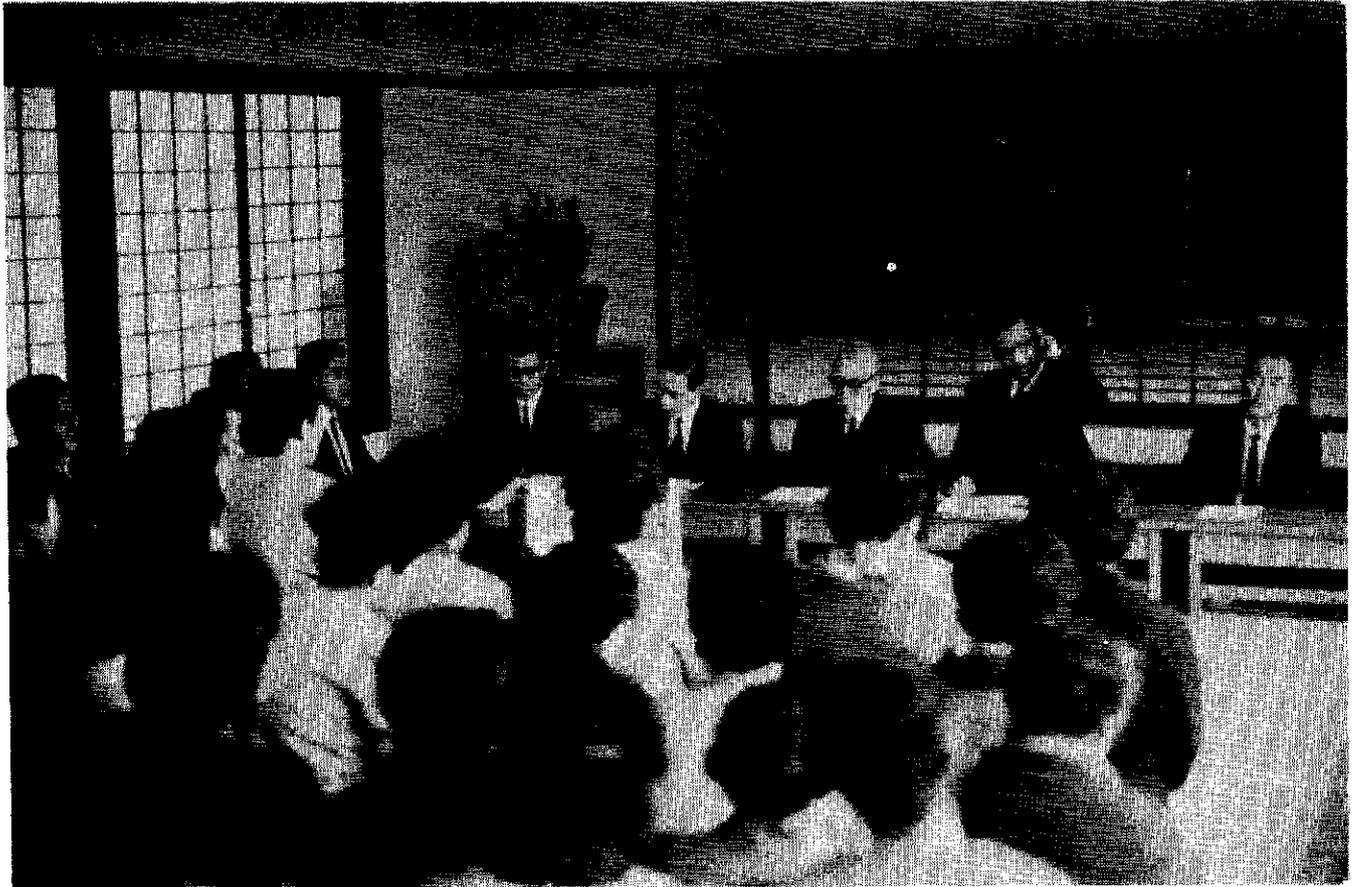




しにかわ 報 広

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社

人口の動き	
—12月1日現在—	
男	5,787(-35)
女	5,951(-26)
計	11,738(-61)
世帯数	2,557(-18)
()内は前月との比較	



移動役場 先月17日が上野農業センター、19日が中仙田公民館と2か所で、いずれも婦人会主催のもとに開催。両会場とも熱心なご婦人であうまりました。(写真は大野会場)

行事

十二月

歳末たすけ合い運動が一日から始まっています。みなさんのご協力をお願いします。

- 十日 定例教育委員会
- 十一日 室島婦人学級
- 十一日 仁田婦人学級
- 十二日 選挙管理委員会
- 十二日 垣幸婦人学級
- 十三日 越ヶ沢婦人学級
- 十七日 元町婦人学級
- 十八日 この日と十九日の両日にわたって町議会定例会、一般特別各会計の決算ほかを審議。
- 二十日 年末総選挙のため役場ではこの日1日者の大そうじ。
- 二十四日 選挙管理委員会
- 二十七日 総選挙投票日

町政コーナー

九月定例議会の一般質問に十日町行との云城行政や合併問題を取りあげられたことがきっかけとなり、町議会会で共通の問題について話し合いが進められていく。まず、十月二十三日に町正副議長及び常任委員長が十日町正役所において①千手トンネル付近の県道の改修と舗装の促進②国道二五二号線の改修促進③消防業務の提携等について協議した。さらに、この結果を実行に移すため、十一月十一、十二日に両議会の下副議長が出発して陳情するとともに、上京して建設省や地元出身国會議員に陳情する等活発な運動を展開している。

町議会の傍聴といえは、たいして婦人層であるということから婦人の町政に対する関心の高まりが伺われるが、九月定例議会の一一般質問を傍聴した婦人会員の中から「自分たちも町政について質問したい」という要望があり、この日初雪には珍らしい二十センチ以上の降雪をみた。道路除雪については、千手地区にはじめて消雪パイプができたことと、昨年引きつづいて雪上車の中型がさらに一台増強され、圧雪機も町と白倉、下原部落に一台ずつ備えつけられて、万全の態勢が整備されつつある。(M)

行政の基本構想を可決

―議会11月臨時会―

十一月二十二日(二)に第九回町議会臨時会が招集され、会期一日で川西町総合開発計画基本構想についてなど六件を可決または承認し、産経委員会に付託されていた請願三件と新規請願二件を採択同じく新規の「老人の福祉対策」についての請願を継続審査として開会した。以下はそのあらまし。

員定数二十三人とあるのを二十九人に改めるもの。(可決)

分担金条例の改正

川西町分担金条例の中で、分担金を徴収できるという根拠条文を掲げた部分の訂正をしたことと、分担金を徴収することができず、業の範囲に、農地および農業用施設の災害復旧事業を加えたことに開運する部分の改正。(可決)

総合開発計画

川西町総合開発計画基本構想の制定について。(可決)

補正予算

今回で四回目になる一般会計補正予算で、歳入歳出にそれぞれ四百九十二万八千円を追加するもの(可決)、これによって、一般会計の予算規模は三億六千三百二十八万二千円になった。

その他

新滝原町村人事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更について可決したあと、前出産経委に付託した請願三件を委員長報告に基づいて採択。「ごり油」・「取安沢東部」各農道開削に関する請願も採択。七十歳以上の医療費全額公費負担を内容とする「老人の福祉対策」についての請願を土厚委員会に付託した。

年末の郵便物差し出しは早めに

小句は荷造り、包装をしっかりと十五日まで、年賀状はおそくとも二十二日までに届けてください。

(郵便局)

(総合開発計画関係については別に詳報する予定である。)

「レモン」を追加

果実酒の原料

自家飲用のため、しょうちゅう砂糖および一部の果実等を原料として酒類を作ることが認められていますが、その原料の果実のなかに、十月二十四日から「レモン」が追加されましたのでお知らせします。

なお、改正後の、原料として認められる果実等の品目は次のとおりです。

- 梅・みかん(うんしゅうみかん・きしゅうみかん・なつみかん・レモンに限る)
- すもも(ぼたんきょうを含む)
- ・かりん・いちご

わたしの

議会傍聴記 ③

室島 高野 子ヨ

前おふたりと同様、わたしの傍聴したのも九月定例会で、これで議会の傍聴は二回になりました。最初のときは室島婦人学級開設二年目のいまから九年はとも前のことだったのでしようか。古いことで経験があるともいわれないのですが、気のせいかな今回は落ち着いて傍聴することができたようです。会議室にはいったのは定刻の八分くらい前でした。ところが議場には数人の議員が見えるだけ。と

にんにく・くこ・しそ・くわ・またたび・さるなし・とち・ぐみ

これでおわかりのように、「さとう」や「りんご」はいままでどおり禁止されていますから、これらを用いて果実酒を作ると違反になります。ご注意ください。

(十日町税務署)

上町の保坂さん

食品衛生で全国表彰を受ける

先月、東京で開かれた「第十四回食品衛生表彰の会」で、保坂長雄さん(上町・六十五歳)が、多年の功績を認められてはえある厚生大臣表彰を受けました。

保坂さんは、昭和三十四年川西町調理師会発足と同時に同会長、翌三十五年食品衛生協会十日町支部の代表として、



保坂さん

部の副支部長、その後、同支部長

調理師検定試験

申し込みは 二十二日まで

調理師の技能検定試験が実施されます。希望者は今月二十二日までに十日町保健所へ申し込んでいただきますが、詳しいことは保健所でおたずねになってください。



うしたのなるうと思っているうちに三分前には全員着席、気持のよい時間守風景でした。

議場のほぼ中央でテーブル・レコーダーが回り始めていよいよ開会

緊張のうちに質疑応答にはいりまわりました。自分もまるで議員になったような気持ちで聞き入ったのですが一番痛感したのは、なんと一丁も町長さんは大変ななあ」とい



年末に、異例の総選挙をひかえています。一九六〇年代を締めくくる、あるいは七〇年代への重要なステップと考えられている一戦が、悔いなく行使されることを祈ります。

- 冬は手が流れて水仕事はつくづくいやだというのが主婦のこのころ。ところが、水仕事をしている最中は決して手は濡れるものでなく、要は、あとの手入れが問題だといえます。ひと仕事終わったら、手まめにハンドクリームなどをつけて、失った脂肪分を補ってください。
- 日 本の家屋が開放的にできているのはご承知のとおり。いくら障子やふすまをびったり締めても、室内の暖気は外に逃げてしまいます。これを防ぐには、ふだんあまりあけたてしない障子やふすまのすき間に目張りをするのもまた、厚地のカーテンで仕切ればなお効果的です。
- さ て、おみそか。この日に正月用品など置物が集中してしまいがちですから、こまかい置物は、あらかじめメモを作っておいてはつづつそろえておきましょう。そして、おみそかはお当り仕事も早めに切りあげ、一家そろってゆったりとした気持ちで新しい年を迎えましょう。

財政と決算の状況

昭和44年度各会計予算の執行状況

単位千円

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		収支差引
		収入済額	執行割合	支出済額	執行割合	
一 般 会 計	358,354	220,314	61.5%	154,585	43.1%	65,729
国保事業特別会計	85,953	38,142	44.4	32,372	37.7	5,770
国保施設特別会計	28,974	13,734	47.4	18,051	62.3	△4,317
農業共済事業特別会計	23,716	15,614	65.8	2,863	12.1	12,751
簡易水道事業特別会計	72,682	2,290	3.2	2,119	2.9	171
計	569,679	290,094	50.9	209,990	36.9	80,104

11月29日付の川西町告示第39号をもって、川西町の財政状況および昭和43年度決算の状況を公表しておりますのでここにその一部を掲げてみなさんにお知らせします。

この中で、決算関係以外はいずれも9月30日現在の数字です。

町債の現在高

単位千円

一 般 事 業 債	11,432
義務教育施設整備事業債	48,828
厚生福祉施設整備事業債	881
災害復旧事業債	19,065
火災復旧事業債	2,503
臨時減税補てん債	10,747
計	93,456

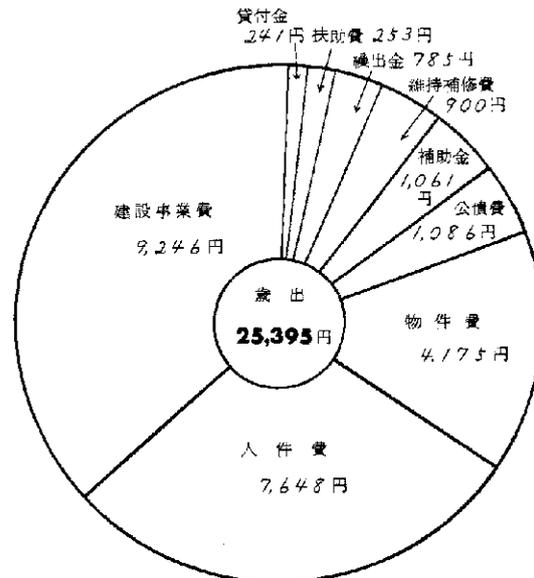
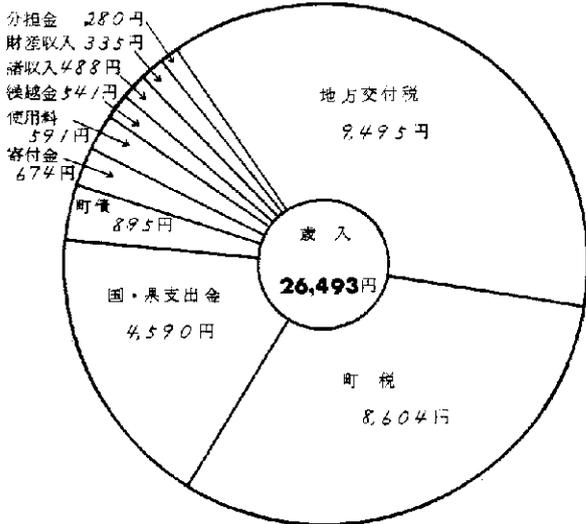
昭和43年度決算の概況

単位千円

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	316,930	303,800	13,130
国保事業特別会計	79,815	76,426	3,389
国保施設特別会計	28,051	30,894	△2,843
農業共済事業特別会計	15,615	7,608	8,007

【一般会計】住民ひとりあたりの決算額(43年度)

町有財産



土地	266,041㎡
建物	38,359㎡
債権	210,000円
基金	700,000円
現金	125,000円
預金	83,453,773円
有価証券	4,675,700円

投票の時間は千手・上野・橋地

投票時間の繰り上げ

投票日はご存じのように二十七日、投票所を設けた場所はこれまでの選挙と同一の所です。

不在者投票は、衆議院議員は公示の三から、国民審査は十七日から始まり、投票日の前日(二十六日)まで行なうことができます。

不在者投票をしていただく場所は役場ですが、今回から次のかたも不在者投票ができるようになりました。

- 母子手帳・身体障害者手帳の交付を受けている者がその手帳を提示し、その理由が、不在者投票該当者と運営が認められた者。

今日には、四人の最高裁判所裁判官が国民審査をうけます。

国民審査の投票は次の要領で行なうていただきます。

- ① やめさせた方がよいと思う裁判官については、その氏名の上の横にXを書いてください。
- ② やめさせたくないと思う裁判官については、何も書かないでください。

なお、投票したくない人は、投票用紙を受け取らないでください。

いよいよ即ち総選挙です。すでに、七日には選挙期日が公示、同日不在者投票も開始され、八日立候補締め切りというように、二十七日の投票日めざして張り詰めた空気がみなぎっています。

また、同時に最高裁判所裁判官国民審査が行なわれるわけですが、いずれの投票に際しても、みなさん自身のために、選次を誤ることなく権利を行使してください。

投票日は二十七日

投票所はいままでどおり

以上の投票区が午前七時から午後五時までの投票時間

二時間繰り上げ

投票区	区内の部落
第13投票区	大白倉、小白倉
第14投票区	小島
第15投票区	高倉
第16投票区	大倉

二時間繰り上げ

投票区	区内の部落
第10投票区	中仙田、庄戸、越ヶ沢
第11投票区	室屋、鎌谷、藤沢
第12投票区	赤谷、若瀬

年末総選挙は60年代の総決算です

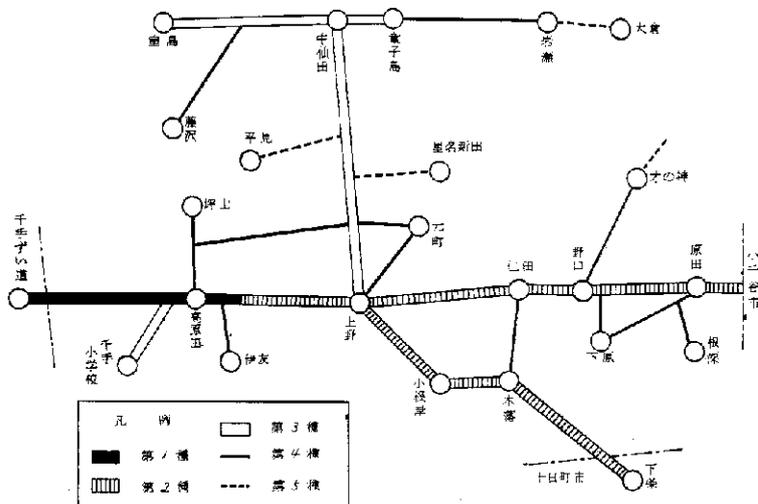
区の場合、午前七時から午後六時までで繰り上げはありません。

仙田地区のみ、投票終了時刻を一時間ないし二時間繰り上げるので注意が必要です。

① 二時間繰り上げ

国民審査

を中心に こそは無雪道路の完全確保を



計 画 内 容

- 1. 目的**
主要道路のうち、重要性の大きい区間について機械除雪を実施して交通の確保を図り、生活の安定と産業や経済の振興に寄与しようとするもの。
 - 2. 除雪の種別**
路線の重要性と除雪の可能性を考慮に入れて、次の区分によって実施する。
 - (1) 第1種 …… 昼夜の別なく常に2車線の幅員を確保することを原則に、異常な降雪時以外は交通を完全に確保し、異常降雪時でも極力2車線の確保に努める。
 - (2) 第2種 …… 昼夜の別なく2車線の幅員を確保するのが原則であるが、状況によっては1車線幅員で待避所を設けることになってもやむをえない。
 - (3) 第3種 …… 1車線幅員で必要な待避所を設けることを原則とし、状況によっては一時交通不能になってもやむをえないものとする。
 - (4) 第4種 …… 圧雪作業を主体とする。
 - (5) 第5種 …… 第1～4種が平常になった時、圧雪作業を行なう。
 - (6) その他 …… 終雪時期、第1～3種の除雪終了後積雪状況を見て除雪を行なう。
- (注) 道路の状況(幅員狭小・人家連担・線形不良・なだれ等)によって変更することがある。
- 3. 除雪作業**
機械力によって排雪作業を行なう。
なお、排雪が困難な場合は圧雪等によるものとする
 - 4. 推進方針**
道路交通確保計画に基づいて、土木事務所・町・協力諸団体と緊密な連絡のもとに除雪協力態勢を作りあげて推進してゆく。

全町民のみなさんで組織する川西町道路除雪協力が誕生しました。この会は、さる十一月二十五日、役員に各町内(部落)で選出した人や各種団体等の代表約七十人を集めて開かれた設立総会の結果スタートしたものです。冬期間、町管内主要道路の無雪化を確保するのが目的です。以下、その協力のあらましと、今冬の道路除雪計画をお伝えしてみなさんのご協力をお願いします。

① 十日町土木事務
発足した川西町道路除雪協力が、冬期、主要道路の無雪化を確保するために取りあげる仕事はおおよそ次のようなものです。

② 実施路線中の家屋密集地区における除雪の指導。
所と町役場が実施する主要道路の除雪に対する協力。

③ 排雪場所の確保ならびに補償に対する協力。

④ 除雪による物件破損などの補償に対する協力。
⑤ 車両の駐車などに対する協力
方についての指導。
⑥ その他

そして、これらを推進するため規約に、協会の会員は川西町民をもって組織する旨をうたっています。いわば、町民のだけれどもこの会の会員であるという自覚のもとに、積極的に協力してほしいということを強調したものです。

役員構成としては、町内会や協力諸団体の中から各一人ずつ選出された評議員が事業を推進する主体となります。

副会長や理事などの役員についてもこの評議員会の手で選出するもので、今回決定した役員の名前は次のとおりです。(敬称略)

会長 丸山恒正、副会長 小林与作、理事 五十嵐鉄治ほか八人、監事 渡賀栄一、山家清作

▼評議員、○印は理事 (町内選出) 阿部政、柳田紀一、田中軍平、藤田宏太郎、田中藤吉、喜多村秋作、平野圭二、平野義一、南真田鶴、朝雲一男、春日喜平、関口重雄、市川富二、白井彦治、数藤孝平、○小林申一、藤本秀雄、丸山恒正、高橋四蔵、蔵品茂雄、田村一策、今藤留平、島田朋策、○喜井正治、田畑基徳、渡賀栄一、沢口武三郎、高橋忠雄、小海珍亮、田村文作、永井栄二、高津徳治、

▼参事 根津町長、和久井蔵長、相原百合彦十日町土木事務所長

なお、会の事務所は役場土木課内に置き、屋根課長・南郷、顧問 藤巻一郎、水窪達一、高橋辰太郎、滋野一郎、丸山初太郎、丸山正平、高木定太郎、南雲哲治、高橋善治、佐藤寿夫、高橋弥太郎、佐藤福松、樋口寅一、登坂茂、小川長次、高橋正美、中島善一、片根時夫、片桐栄二、(商工会) 平野正義、上村次夫、(農協) 高橋庄作、上村晴夫、(交通安全協会) 黒島善次(婦人会) 〇数藤タツ、(運転者協会) 北村栄作、(建設業協会) 吉楽重一、(学識経験者) 〇田中与三郎、山家清作、〇五十嵐鉄治、〇須藤亮助、〇丸山一徳、小林与作、〇相不二吉、〇喜喜政長

評議員については協力員とも呼ばせていただきますが、その協力員のみならず、来しきたるべき冬の道路除雪にあたって、別項(左)の計画区とその下の計画内容(右)の計画に従い、具体的には次のような事から依頼したところですが、どうか一般のみなさんご援助をお願いします。

常に路線の状況をつかみ、異状のあった場合はすみやかに担当職員に連絡し最善の措置をとる。市街地の排雪、除雪を実施する際、屋根の除雪指導を行なって

次ページへつづく

屋根の 除雪指導も

除雪協力会 ことし

作業に支障のないよう注意する
作業中の事故防止について万全の措置を講ずる。

除雪作業の報告について、交通状況、作業内容、事故の有無を毎日担当職員に報告する。

除雪事務分担

●統轄 星名仁作 ●一班
●除雪計画、苦情処理、保安要員



(初雪の降った先月二十四日、はやくも効果を見せた消雪パイプ)

白動、道路パトロール等を担当)

南雲寺、星名四郎、星名良子、白井洋、小林十八 ●二班(米橋)

上野(中山田) 室島尚お

よびこれらの付随路線の除雪、圧雪関係、雪上車およびシーブの運行、消雪パイプ管理等を担当) 榎間富雄、大海基二、山口達也、高橋恒平、高橋登六 ●三班(石橋)

上野(おおひびその付随路線の除雪、圧雪関係等を担当) 水品幸一、高橋己一 大海均 ●四

班(上野) 原田龍およびその付随路線の除雪、圧雪関係などを担当) 大平剛上、村越久吉、谷井一

二、相崎基平

つきに、除雪協力会の発足にあたって会長に選ばれた丸山恒正さんがあいさつを寄せられているのでご紹介いたします。

除雪協力会の設立にあたって

会長 丸山恒正

年とともに無雪道路の確保というものが強く叫ばれるようになり、町においても多額の費用を投じて道路除雪にあたりつつあるのですが、また住民の希望を満たしてくれるようなものになっていないようでありませう。

しかしながら、これは県や町だけの責任ではなく、町民にもその責の一端をになうべきものがあるのではないかと反省し、その結果組織力の必要性が痛感されましたので、春以来、各地区から推薦された委員をもって川西町道路除雪協力会発起人会を作って準備を進め、今回の設立にこぎつけたので

あります。

町民のみならずには、こんど地区役員等を逐じてなにかと無理なお願いを申しあげると存じますが、お互いに協力し合って道路除雪作業を推進し、宿命的な雪を克服するためであり、特段のご協力ご支援を期待いたします。

冬期間除雪のための 駐車禁止区域

家屋連担地を主に

いすれも県道小千谷・千手・十日町線の次の区間

◆ 浅河原から霜降地内(高橋工務所)まで

◆ 上野地内の家屋連担地区

◆ 仁田地内から野口地内まで

◆ 以上の路線区域が、冬期間の除雪のため駐車禁止となりました。ご協力をお願いします。

町の事業 入札のしよう

①は施行か所 ②は請負
業者 ③は請負金額

● 沖立緑地改修 ①沖立 ②吉楽土建 ③二百四万円 ● 霜降地内吉環

● 伏線 ①霜降 ②吉楽土建 ③三十二万円 ● 道路災害復旧 ①室

● 丸山工務所 ③百二万三千円 ● 水路災害復旧 ①赤谷 ②

● 川西建材 ③二十一万三千円

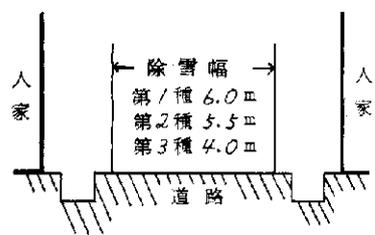
交通規制の要請は 審議会の委員へ

十日町警察署が交通規制を策定して公安委員会へ申請をする際、その適正な運用を図るにはどうしても民意の反映というところが欠くことのできない要件になるといので、十日町警察署交通規制審議会というのが設置されています。

審議会は署長を委員長に二十五人の委員で構成され、川西町では次の五人のかたが委員に委嘱されています。

・ 道路管理者代表 星名 仁作
・ 商工業者代表 清水 京平
・ 教育関係代表 杉本春三郎
・ 運転者代表 田中与三郎
・ 安全協会代表 太田 長栄

(敬称略)
交通規制に関するみなさんの意見や要望を委員あてにお申し出になってください。



民俗資料

【11月分】

※寄贈者(敬称略・受付順)
高橋悠八郎(高倉) 滋野義雄
(野口) 小川増太郎(岩瀬)
高橋孝平(学校町) 田中隆一郎
(仁田) 佐藤富蔵(山野田)
滋野定良(野口) 五十嵐壮平(あんどん)

野口の 民謡保存会

信濃川発電工事完成祝賀会や合同落成式の出し物に壁塗りおけき・広大寺といったみごとな踊りをひろう(写真)、大向ののカッサイを受けた野口有志のみなさんが、「野口民謡保存会」を結成しました。

発起人十人の呼びかけで設立総会を開いたのが先月十五日のこと。会場からも助役、公民館主事が結成をお祝いして出席しています。

この日の参加は二十八人、結成総数は三十一人(うち女子が十人)にまとまり、幹部のみなさんも次のように決定しました。

会長 村越利雄、役員 大久保三吉、大久保清太郎、滋野重雄、滋野一野、村越恒治、村越研一、丸山虎尾、野沢秀一。いずれも敬称略

前述の民謡踊りのほかに「四つやから」などを含めて、古くから野口部落に伝わる踊りや各地の代表的な民謡を調査、研究し、毎年八月二十六日の諏訪神社大祭で総合発表をしようというのが主目的。会員は野口に在住の同好者で構成し、本年度の会費は三百円と



広報スケッチ

年末の支払日を変更 役場への請求書提出は十八日まで

役場の年末支払いは通常なら二十五日ですが、ことしは、ご承知のように異例の年末総選挙が行なわれるので、これを變更して二十三日に繰り上げました。したがって、各商店等からの請求書提出は十八日までに済ませて下さい。
(収入役室)

高令者のために

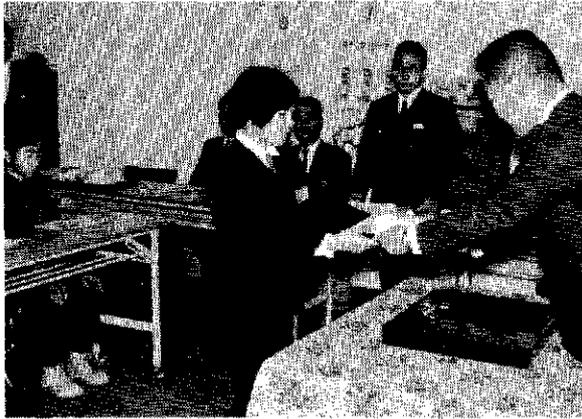
国民年金加入のすすめ

5年のかけ金で3万円

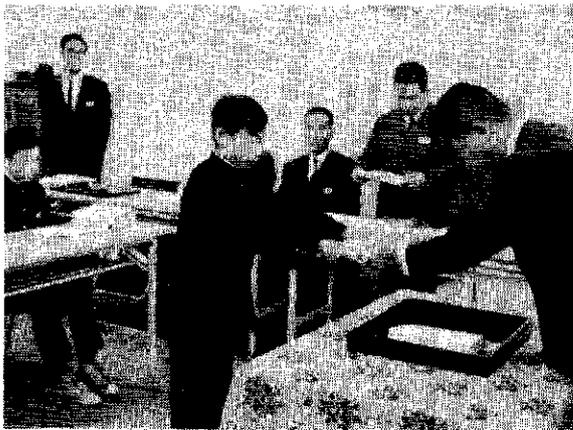
国民年金ができたときに任意加入されなかつた皆さんから、できるだけ早く年金を受けていただくために、もう一度加入の機会が得られるよう、いわゆる五年年金制度が実現しました。
これが最後のチャンスです。ごなとも年金に加入して最後に備えてください。
●加入できる人
明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの間に生まれた人。
●加入できない人
厚生年金や共済組合などに加入している人、自分の年金や恩給を受けている人また受ける資格のある人。ただし、増加恩給・傷病年金・公務扶助料・普通扶助料などを受けている人は加入できません。
●保険料は月額七百五十円です。

税の標語入選者の表彰

下の写真2枚が前号で紹介した入選者の表彰風景
(11月4日 税務署で)



←国税局長賞をうける川西中一年 蔵品千寿子さん



→税務署入選で記念品をうける川西中代表(一年)押木徳君

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

太田 文子 治平 長女 田中
平野 旬子 蓉介 二女 東善寺
岡島 正和 利治 長男 大白倉
数藤 純子 徳義 長女 沖立

たかさご—ご円満に

◎新郎 青木 利夫 田戸
◎新婦 登坂チズ子 赤谷から
◎新郎 金子 和男 元町
◎新婦 小林ニフ子 中仁田から
◎新郎 数藤 一己 発電所通り
◎新婦 高橋 知子 十日町から
◎新郎 星名 一夫 伊友
◎新婦 佐藤 ヨシ 十日町から

◎新郎 田中 誠 下平
◎新婦 上村 豊子 十日町から
◎新郎 数藤 孝 沖立
◎新婦 中村クニ子 坪山から
◎新郎 田中 泰雄 下平
◎新婦 田中 久江 十日町から
◎新郎 池竹 茂 原田
◎新婦 井口 矢生 東京から
◎新郎 半田 孝夫 室島
◎新婦 瑞田 清恵 室島から
◎新郎 若山 正義 新町新田
◎新婦 宮澤ゆき子 十日町から
◎新郎 田口 鐵男 上野
◎新婦 羽鳥 春子 十日町から
◎新郎 大平 孝雄 原田
◎新婦 村山小夜子 小千谷から
◎新郎 村山 茂樹 上屋敷
◎新婦 桑原 節 津南町から
◎新郎 上村 文夫 上野
◎新婦 延野 ケイ 十日町から
◎新郎 酒井 隆夫 中央町
◎新婦 山田 和枝 与板町から
◎新郎 村越 秀一 野口
◎新婦 喜多ケイ子 中島町から
◎新郎 江口 逸雄 小白倉
◎新婦 江口 玉江 小白倉から
◎新郎 高橋 好次 高倉
◎新婦 藤澤 好子 岡から
◎新郎 田中 美隆 仁田
◎新婦 渡辺 幸子 新町新田から
◎新郎 渡辺 武久 鶴吉
◎新婦 上村 亮一 上野
◎新郎 樋口 文子 中井から
◎新婦 西山 宗也 下平新田
◎新婦 保坂 敏子 十三町から

入場券の半片は 必ず受け取って

(十日町税務署)

年末・年始の休日には映画館におでかけの機会も多いことと思われまふ。
映画館では、入場券または前売券の半片を切り取って入場者に交付することになっておりますから、映画館にはいる際は、窓口でこの半片を必ず受け取って、入場税が完全に納税されるようご協力ください。



かわにし
俳壇
太白白南風選

昇天—こめい福を祈る

北村 進一 学校町 三三
田中トキヨ 小白倉 三九
高橋八十吉 三領 五六
小春風まわり号は村へ着く
次々と話はずも成はねる
発電所通り 小川 越人
初雪にわずかに藪の尖り出て
水口に落葉吹寄せ地澄めり
銀杏の実落ちて明るき小春日に
元町 日垣 東洋
鈴振りて探みて宮を囲いけり
松風園 南 雪文 室
小屋根より再び木の葉舞い落ちし